

メッセージ

岩国集会に参加されたみなさんに福岡県の航空自衛隊築城基地反対運動をしている「平和といのちをみつめる会」を代表して連帯のメッセージを送ります。

私たちは1989年から毎月2日に基地前で座り込み行動（通称「2の日」）を続けてきて、来たる12月2日に307回目を迎えます。平和を願い闘いを続ける私たちの目の前で、基地機能はどんどん強化され、日米が一体となつての訓練が繰り返されています。佐賀空港にオスプレイが配備されることになれば、岩国基地と佐賀空港の中間に位置する築城基地もまたオスプレイも含めた日米の軍事基地として重要な役割を担うことになるでしょう。

安倍総理が仕掛けた「突然の衆議院解散・総選挙」は、突然のよう見えて、実は周到な計算の元に、安倍の宿願である「憲法改正（改悪）」をやりとげるプロセスであると思います。有権者の目を「経済」にのみ向けておいて、選挙の勝利を「安倍政権の全面承認である」と言い張って、集団的自衛権の行使、原発再稼働、そして憲法改悪へ一気に進めるための解散・総選挙に他なりません。

こんな重大な局面におかれながら、私たちの力はとても弱く、新しい流れを作り出す方法も持てずにいます。

明30日、築城基地では「基地航空祭」が開催されます。岩国基地と同様に、築城基地航空祭も大人気のイベントで、毎年何万もの人々が押し寄せてきます。日米共同訓練が強化されようが、集団的自衛権行使が容認されようが、たとえ憲法が改悪されようが、人々は「関係ないさ」といった顔で航空祭を「楽しむ」ためにやって来ます。私たちは少数ではありますが、毎年、航空祭に正門前で反対行動をします。「戦争のための兵器と訓練を『楽しむ』。それでいいのですか？」と問いかけるために門前に立ちます。

何も変えることは出来ないかもしれないけれど、「NO!」を言う者たちの存在を示すことは大事だと思うから。「NO!」を言う者たちがゼロにならないことがこんな時代にこそ大きな意味を持つと思うから。

まだ、あきらめない。まだ、絶望しない。流されない。飲み込まれない。絶対に服従しない。

戦争政策を進める権力に対して、強い意志をもって闘い続けましょう。

2014年11月29日

平和といのちをみつめる会（代表 渡辺ひろ子）